

11日 陸軍

大日本帝國週報

樹立ノ前途ニ欲スホ入セリ
 亦ハ教育ノ遂員ノ獎勵ノ具成ノ官吏階級等ニ關スル備置
 スルヲ以テ
 準備服)ノ懸懸對系ニ懸置スルイ共ニ立成實際式類ニ兼置
 (指)人前綜合情畫イハ終國全人口ノ此類前氣爆藥前分亦(指服)

極秘

新財政政策ノ樹立ニ關スル件

昭一五九四

本年七月二十六日閣議決定ニ係ル基本國策要綱ノ定ムル所ニ依リ國是
 遂行ニ必要ナル國防國家體制ノ確立ヲ期センガ爲ニハ國防上及外交上
 ニ於テハ勿論政治、經濟、教育其ノ他庶政百般ニ互リ萬難ヲ排シテ舊
 體ヲ脱シ速カニ新體制ノ實現ヲ圖ルノ要アルニ依リ是等ノ施策整備ニ
 必要ナル財政政策ハ中央ニ於テハ勿論地方ニ於テモ概ネ左記各項ニ準
 據スルコトトシ軍官民共率先當面ノ犧牲ヲ忍ビ戰時財政ノ強化ニ協力
 スルト共ニ綜合國力ノ發展ヲ目標トセル財政計畫ノ確立ニ寄與スルモ
 ノトス

記

一、根本方針

21

15.9.9.全7次

現内閣ニ於テ決定シタル基本國策實現ノ爲眞ニ緊急已ムヲ得ザル財
政需要ニ付テハ經濟政策ノ圓滑ナル遂行ヲ考慮シツツ積極的態度ヲ
以テ之ガ充足ニ努ムルコトトシ所要財源ノ調達ニ付テハ財政依存ノ
根源タル國民經濟ノ實相ヲ稽查シ其ノ遺漏ナキ動員活用ヲ期スルト
共ニ他面將來更ニ有事ノ際ニ處スベキ基本國力ノ培養ヲモ等閑ニ附
セザル如ク工夫スルコト

ニ 財政需要ノ規制

- (1) 曩ニ閣議決定ニ係ル「昭和十六年度豫算編成ニ關スル件」ハ各省
共忠實ニ之ヲ恪守シ名實共ニ戰時豫算ノ體制ヲ確立スルコト
- (2) 經費ノ要求及使用ニ際シテハ重點主義、節用主義及効率主義ノ徹
底的勵行ヲ期シ能フ限り政府支出ノ膨脹ヲ抑制シ國民經濟トノ均

衡調和ヲ圖ルコト

物資動員計畫、資金統制計畫及勞務動員計畫ニ適合セル豫算ノ編成ニ資スル爲關係官廳ニ於テ緊密ナル連絡ヲ遂ゲ最善ノ努力ヲ拂ヒ所要ノ時期迄ニ右諸計畫ヲ確立スルコト

四豫算編成ノ際ニ於ケル新規要求ノ認否ニ關シテハ能フ限り所管各省ノ意嚮ヲ尊重スルト共ニ事務ノ圓滑ナル進捗ヲ期スル爲各省ハ毎年度概算新規要求ノ改案計畫ヲ立案シ概算要求關係書類ト共ニ之ヲ大藏省ニ送付スルコト

三、所要財源ノ調達

(1) 歳入見積ノ適實ヲ期スルト共ニ新稅制ノ彈力性ヲ活用シ増稅其ノ他普通歳入増加ノ方途ヲ講ズルコト

(2) 公債財源へノ依存ノ程度ハ極力之ヲ最少限度ニ止ムルト共ニ資金
統制計畫ニ適合セル公債發行計畫ヲ樹立スルコト

(3) 國防國家體制ノ觀點ヨリ既定經費ノ再檢討ヲ爲シ行政機構ノ廢合
改組、官廳事務ノ停止縮減、既定事業ノ打切繰延等ヲ行ヒ餘裕財
源ノ捻出ニ努ムルコト

四 財政計畫ノ確立

(1) 大藏省ハ平戰時ヲ通ズル財政計畫策定ノ爲所要ノ研究調査ヲ行フ
コト

(2) 各省ハ財政計畫立案ノ資料トシテ毎年度標準豫算ノ改編計畫ヲ設
定シ概算要求關係書類ト共ニ之ヲ大藏省ニ送付スルコト

(3) 本件ハ特ニ高度ノ「機密取扱」ト爲シ之ヲ政府部外ニ發表セザル

五 豫算ノ實行

ハ勿論政府部内ニ於テモ能フ限り小範圍ニ於テ之ヲ處理スルコト
政府ハ豫算ノ實行ヲシテ常ニ物價、物資、勞力、資金等諸般ノ經濟
事情ノ趨勢ニ即應セシメ財政ノ國民經濟ニ及ボス影響ヲ參酌スルノ
要アルノミナラズ特ニ現下ノ時局ニ際シテハ戰時經濟ノ運営乃至戰
時國民生活ノ確保ニ支障ナカラシムルノ要アルヲ以テ昭和十六年度
豫算ノ編成及實行上豫メ豫備費ノ増額、支拂豫算ノ抑制、豫算使用
着手前ノ協議其ノ他適當ナル方策ヲ工夫シ概算閣議ノ際之ヲ決定シ
置クコト

六 即時着手事項

(1) 昭和十六年度ノ物資動員計畫、資金統制計畫及勞務動員計畫ニ付

テハ遅クトモ十月二十日迄ニ其ノ概略案ヲ作製シ大蔵省ニ送付ス
ルコト

(2) 各省ニ於テハ此ノ際速カニ別紙要綱ニ依リ昭和十六年度標準豫算
ノ改編計畫ヲ立案シ之ヲ前掲五ノ(2)ニ依ル財政計畫資料調書トシ
テ十月十日限り大蔵省ニ送付スルコト

(3) 前掲二ノ(4)ニ依ル昭和十六年度概算新規要求ノ改案計畫ハ別紙要
綱ニ依リ來ル十月十日迄ニ之ヲ立案シ大蔵省ニ送付スルコト

Hatanabe